

商工会議所LOBO（早期景気観測）

-2018年12月調査結果-

調査概要

- 調査期間 2018年12月7日～28日
- 調査対象 200社
- 回答企業 109社
- 回収率 54.5%

※DI値（景気判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

なお、従業員の項目については、DI値ゼロを基準として、プラス値は人員不足感を表し、マイナス値は人員過剰感を表している。

DI値 = (増加・好転などの企業割合) - (減少・悪化などの企業割合)

業況・採算：(好転) - (悪化) / 売上：(増加) - (減少) / 従業員：(不足) - (過剰)

旭川市概況

※全産業の12月の状況を見ると業況DIは、前月より0.5ポイント改善の▲21.1となった。

2017年9月以来16ヶ月連続でマイナス水準を推移している。

※向こう3か月の全産業における、先行き見通し業況DIは▲27.5、当月に比べ6.4ポイントの悪化を見込んでいる。

旭川市全産業 DI 値（前年同月比）の推移

	2018年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	先行き見通し 2019年1月～ 3月
業況	▲19.3	▲19.4	▲30.9	▲34.2	▲21.6	▲21.1	▲27.5
売上	▲7.9	▲12.8	▲25.2	▲20.7	▲7.2	▲9.2	▲25.9
採算	▲17.5	▲21.1	▲31.5	▲25.2	▲21.6	▲12.8	▲23.9
仕入単価	▲39.8	▲42.6	▲38.7	▲43.7	▲43.2	▲30.2	▲40.4
従業員	25.4	32.4	27.9	33.3	32.4	31.2	30.3
資金繰り	▲4.4	▲6.5	▲7.2	▲9.9	▲9.9	▲7.3	▲14.6

旭川市産業別業況DI値（前年同月比）の推移

	2018年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	先行き見通し 2019年1月～ 3月
建設	▲25.9	▲30.8	▲34.6	▲51.9	▲33.3	▲20.0	▲36.0
製造	▲28.0	▲30.8	▲26.9	▲25.0	▲16.0	▲37.5	▲33.3
卸売	▲8.3	0.0	▲33.3	▲15.0	▲5.3	▲17.4	▲30.4
小売	▲25.0	▲11.7	▲17.6	▲25.0	▲29.4	▲5.5	▲16.7
サービス	▲9.1	▲15.0	▲40.0	▲50.0	▲20.0	▲21.1	▲15.8

今月のトピックス（業界の声・経営上の問題点）

建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・海外（発展途上国）の若者に比べ、日本の若者はどん欲にはい上がる気概に欠ける様に思われる。（設備その他） ・継続仕事が少なく、本州方面も仕事量少ない。3月末頃から始まるその下準備で労働者を確保している。（建築） ・請負工事の減少傾向から、収益及び資金繰りの悪化が懸念される状況にある。消費税の改正に伴う駆け込み需要に期待しているが、期待薄の感がある。（建築）
製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・例年、販促印刷物を中心として受注が増加する時期であるが、繁忙期が後半に偏ってきている。前半分が前年比マイナスの状況にある。年始チラシも年内持ち込みのため、製作スタッフの時間外勤務が増える時期でもある。（人件費増となる）人口減少と新聞購読者減少により、毎年印刷部数は減少＝売上減少となっている。（印刷・出版） ・売上が減少している中、資材(紙)の値上げが来た。またダンボールなどの梱包資材の値上げなど、販売単価の検討を考えなければいけない。（家具木材） ・当社主要購入資材のアルミの価格がやっと上げ止まった。（金属窯業他）
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・売上に対して利益率が低い傾向が見える。（機械鋼材） ・工事実行の下請事業者の確保（機械鋼材） ・灯油の仕入価格は12月に入り下落、それに伴い販売価格も下落しました。当面の間、現在の水準で進むものと思われれます。（その他） ・従業員不足。売上が伸びない。（その他）
小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・12月に入り雪が降らず、月前半は来店客が少なく天候に左右され男性もの、女性もののアウターウェアが全く売れず、売上が大変厳しい状態です。2週目の週末に雪が降り寒さが厳しくなり防寒用のアウターの動きが活発になり、売上が前年並になりました。（衣服見回品） ・胆振東部地震以降の旭川市民の個人消費は一度落ち込んだものの完全に復活したと思う。旭川市長選が無ければ立ち直りはもっと早かったであろう。仕入価格は運送費の上昇でこれから確実に上がっていきだろう。最低賃金が上がりシフトの組みづらさがある。（衣服見回品） ・原材料費用の増加（食料品） ・従業員不足が解消されない。（その他）
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・12月に入り冬シーズン。雪も降り、トマム、ニセコのスキー客が宿泊して本格的に忙しくなりました。札幌のホテルも観光客増で忙しくなってきました。道北、旭川市内は昨年比10%の減です。（理美容クリーニング） ・慢性的な人員不足（ホテル・旅館） ・特に民間業務においては価格競争が激化している。（その他） ・今年は雪の影響がまだ無いため、まあまあの売上（飲食） ・雪が遅いため、事故車が少ない（整備） ・従業員不足により売上等の減少が問題。燃料の高騰が運送業界には直接の痛手。（運送） ・燃料の高騰（運送）

旭川市の産業別概況

産業	概況
建設業	<p>売上 DI1.3 ポイント改善、採算 DI20.7 ポイント改善、仕入単価 DI25.3 ポイント改善、資金 DI1.4 ポイント悪化、従業員 DI8.0 ポイント増加し不足感が高まった。総じて業況 DI は 13.3 ポイント改善となったが「悪化」から「不変」への変化が主因であり実体はほぼ横ばい。業種別では、建築 50 ポイント悪化、総合工事 42 ポイント、設備・その他 9 ポイント改善となった。継続仕事が少ない、本州も仕事量が少ない。3 月末頃から始まるその下準備で労働者を確保しているとの声も寄せられている。</p>
製造業	<p>売上 DI20.4 ポイント悪化、採算 DI13.1 ポイント悪化、仕入単価 DI6.4 ポイント改善、資金 DI8.5 ポイント悪化、従業員 DI4.7 ポイント増加し不足感が高まった。総じて業況 DI は 21.5 ポイント悪化となった。業種別では、食料品 8 ポイント、家具・木材 20 ポイント回復、印刷・出版 17 ポイント、金属窯業他 69 ポイント悪化となった。当社主要購入資材のアルミの価格がやっと上げ止まったとの声も寄せられている。</p>
卸売業	<p>売上 DI18.2 ポイント悪化、採算 DI13.0 ポイント悪化、仕入単価 DI4.2 ポイント悪化、資金 DI1.8 ポイント改善、従業員 DI15.8 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 12.1 ポイント悪化となった。業種別では、機械鋼材 20 ポイント改善、繊維・衣服等横ばい、食料品 2 ポイント、その他 48 ポイント悪化となった。従業員不足。売上が伸びないとの声も寄せられている。</p>
小売業	<p>売上 DI17.7 ポイント改善、採算 DI40.2 ポイント改善、仕入単価 DI23.9 ポイント改善、資金 DI11.8 ポイント改善、従業員 DI8.2 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 23.9 ポイント改善となったが「悪化」から「不変」への変化が主因であり実体はほぼ横ばい。業種別では、食料品、自動車横ばい、衣料品 75 ポイント、その他 50 ポイント改善となった。胆振東部地震以降の旭川市民の個人消費は一度落ち込んだものの完全に復活したと考える。旭川市長選が無ければ立ち直りはもっと早かったとの声も寄せられている。</p>
サービス業	<p>売上 DI14.5 ポイント改善、採算 DI9.2 ポイント改善、仕入単価 DI7.9 ポイント改善、資金 DI14.8 ポイント改善、従業員 DI7.9 ポイント増加し不足感が高まった。総じて業況 DI は 1.1 ポイント悪化となった。業種別では、理美容・クリーニング 67 ポイント改善、ホテル・旅館、その他、飲食横ばい、整備業 50 ポイント、運送 33 ポイント悪化となった。従業員不足により売上等の減少が問題。燃料の高騰が運送業界には直接の痛手との声も寄せられている。</p>